

80人に即日交付できず

7市町 システム障害で

マイナンバーカード

共通番号制度のマイナンバーカードを管理する「地方公共団体情報システム機構」(東京)のシステム障害が相次いでいる問題で、県内の7市町で計80人分のカードが自治体窓口で即日交付できなかったことが29日、読売新聞の取材でわかった。4市町は、機構のシステムが安定しないため、カードの交付場所などを知らせる交付通知書の送付を遅らせた。

通知書発送延期も

カードの交付が始まって、いるのは29日現在、県内35市町村の8割近くにあたる27市町村。機構によると、システム障害は13〜25日に6回、住民基本台帳ネットワークとマイナンバーカードの16人、大和町の13人と続

マイナンバーカード 国内に住むすべての人に割り当てられた12桁の個人番号(マイナンバー)が記載された顔写真入りのカード。希望者は、住民票に記載された住所に届いた「通知カード」と引き換えに自治体窓口で受け取れる。公的な身分証明書になる。

自治体	人数
塩釜市	33
仙台市	16
大和町	13
亶理町	7
多賀城市	6
松島町	3
大郷町	2
合計	80

※読売新聞調べ、29日現在

交付できない事例があった自治体

トラブル対応は自治体によって分かれた。塩釜、仙台、大和、松島の2市2町は原則本人しか受け取れない「本人限定郵便」などで後日カードを郵送。多賀城、亶理、大郷の1市2町は本人に後日来庁してもらいカードを渡すことにした。塩釜市では、不具合が発生した当初、システム復旧を待ち、住民を1時間待たせたうえに、カードを渡せないケースがあった。住民は「最初から渡せないと言

えばいいのに」と怒っていたという。同市の担当者は「不具合に自治体が振り回されている。早急に改善をお願いしたい」といらだちを口にした。

仙台市でも、待たされたことに腹を立て、その後の交付方法を聞かずに帰ってしまった人がいたという。同市の担当者は「不具合は自治体側の問題ではないとはいえ、市民にご迷惑をかけた」と話した。

一方、機構のシステムが安定していないことから、トラブル回避のために交付通知書の発送を遅らせたのは石巻、女川、柴田、利府の4市町。18日から送付を

始める予定だった石巻市は急ぎよ、2月初めからに變更。女川町も1週間遅らせ、26日から送付を始めた。

機構によると、トラブルの詳しい原因はわかっておらず、今後も障害が起きる恐れがあるという。県市町村課は「今後、市町村と連携し、国や機構に対し、改善要望を出すことも検討している」としている。

産廃業者立ち入り 県と仙台市進める

廃棄された冷凍ビーフカツの不正転売事件を受け、県と仙台市は29日までに、県内で食品廃棄物を扱う産業廃棄物処理業者32社のうち、25社への立ち入り検査を終えた。転売などの不正は確認されなかった。県は残る7社について、2月中旬に検査を終える予定だ。

環境省は廃棄物処理法に基づき許可権限を持つ全国の都道府県と政令市に対し、産廃業者への立ち入り

検査を行い、29日までに結果を報告するよう求めていた。

仙台市は22〜26日に市内の5社を検査し、28日に環境省に結果を報告した。県は仙台市の5社を除く27社について、25日から検査を続け、20社で完了した。

古川 **パパ好み** 名物 0229-22-0259

川崎町の「の湖畔公園」の雪が運ばれ、ともに3・長さ15材の



かまくらの中に入って楽しむ子供たち

「六魂祭」6月25、26日 青森で

東北6県の代表的な夏祭り

青森県は青森開催で東北6県を一

インイベントの。日午後5時〜同、午後0時半〜同、森市中心部の国、の約1.5区間で